

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田)
Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp HP：太平山麓九条の会で検索



143号
2019年4月26日発行

5月3日（金・祝）憲法9条 正念場の年

「憲法守れ」の声を上げ、行動しましょう！

◇スタンディング

時間：10時～約40分間

場所：イオン・カワチ薬品前交差点
思い思いのプラカードで意思表示を
しましょう。

（プラカードのない方は
用意しますので、手ぶらでおいで下さい）
主催：太平山麓9条の会



（2018年5月3日 スタンディングの様子）

◇講演会 「改憲を阻止し、安倍政権よ、あばよ！ 講師 五十嵐 仁氏」

時間：13時30分～

場所：宇都宮市立東図書館

主催：栃木革新懇

◇全国憲法集会「平和と命と人権を！5・3憲法集会」

時間：11時から 県民ネットでバスを出します。

場所：有明防災公園（東京臨海広域防災公園）

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会5・3憲法集会実行委員会

NHKプロデューサー 塩田純講演会に参加して

板橋千代子

「谷中村の遺跡を守る会」主催の塩田さんの講演は、映像とお話で構成されていて、とてもわかりやすい内容でした。改憲を狙っている勢力は「押し付け憲法」と断定していますが、押し付けではないことが当時の資料を基に、NHKの「E TV特集 焼け跡から生まれた憲法草案」「NHKスペシャル 日本国憲法誕生」「NHKスペシャル 憲法70年 平和国家はこうして生まれた」にまとめられています。

塩田さんは、これらのDVDの一部を使いながら、憲法が作られていく状況を説明してくれました。GHQが憲法草案を作るようになったのは、松本憲法草案が、ポツダム宣言の趣旨に大きく外れているからだだったこと。そしてGHQの草案には、自由民権運動などの流れをくむ鈴木安蔵ら憲法研究会の憲法草案要綱などが参考にされたことなどが、残された資料や証言から分かることも知りました。

9条の戦争放棄には、幣原首相が天皇制擁護とセットで提案したことや、その背景にパリ不戦条約が関係していることもわかりました。

特に圧巻だったのは、帝国憲法改正案特別委員小委員会での討議内容です。当時の討議の様子が再現ドラマで一字一句当時の発言のまま再現されていました。与野党の別なく各議員が真摯に討議しています。GHQで作られた草案がそのまま国会で承認されたのではなく、国会の小委員会などで検討討議され、変更やつけたしが行われたのです。森戸辰男と鈴木義男の提案で書き込まれたのが、25条の生存権です。憲法で保障されている「平和的生存権」。この権利は特に9条と25条によって規定されていること。これをなくしては平和憲法とは言えないこともわかりました。

軍事費の増加と消費税増税・社会保障のかかわり

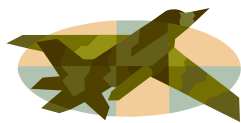
史上最高額の防衛予算

2019年度防衛関係費予算額（以下、防衛費）は「7年連続の増額」で、「史上最高額」になった。金額で2012年度の4兆7138億円から今年度は5兆2574億円へ5436億円、11.5%増になるが、この説明だけでは不足がある。

昨年、武器の買いすぎで防衛庁は資金繰りに困り、取引業者へ1104億円の支払延期を申し入れたが断られ、補正予算で手当し、「史上最高額」を少なくした事実だ。

社会保障費の伸びを越えた

政府は昨年末、防衛費3996億円を含む2018年度第2次補正予算案を決定、今年2月に国会上程、少ない審議時間で通過・成立させた。防衛費のうち3177億円がツケで購入したF35A戦闘機等の代金である。アメリカからの「武器爆買い」（FMS）による結果だが、これは財政法が定める補正予算の要件（「予算編成後に生じた事由に基づき特に必要な経費」）に反し、現憲法下の財政規律を破っている。また防衛費は、補正分全額をさきの「史上最高額」に加えると、5兆6509億円と前年度に比べ8.9%の急伸になり、社会保障費の3.4%増を大きく上回る。



…おしらせ…

・スタンディング

5月9日(木) 栃木市役所前

5月19日(日) ケイズデンキ大平前交差点
両日とも16時から30分間

・パレード

6月15日(土) 宇都宮城址公園

午後1時30分から出発前集会、
午後2時パレード出発、(県民ネット主催)

・スタッフ会議 5/9 14時から(市民スペース)
・5/24 13時30分(くらら)

軍事費増加・消費税増税と社会保障

昨年12月に閣議決定した「防衛大綱」は、北朝鮮を「当面の脅威」、中国、ロシアを警戒・監視が必要な国にあげ、日米同盟の下、「防衛力の質及び量を必要かつ十分に確保(する)」と明記した。

新中期防衛力整備計画は、今年度から5カ年間の所要経費を前回計画と比べ約2兆8000億円多い約27兆4700億円と見積っている。そのほかに閣議はF35型戦闘機102機(うち42機は小型空母に搭載できるF35B型)の「完成機輸入」を了解したように「画期的」軍拡がはじまっている。

一方でこの10月から消費税が増税になる。財務省の試算では昨年度、社会支出4経費(年金、医療、介護、子育て)の公費負担(国、地方合計)は約40.5兆円だが、消費税収入は19.5兆円なので約21兆円の差(「すき間」と呼んでいる)があり、消費税以外の税金や公債で賄っている勘定になる。

政府は、「消費税は全額を社会保障に使う」というが「公費負担を消費税収入に変えて」「すき間」を埋め、「余裕財源」をつくるのが目的だ。消費税を増税し社会保障費を削減するとその分、軍備に使う「財源」が増えていくのだから、10月からの増税は憲法9条改憲・「戦争する国」の資金を増やすタネとなる。

(熊澤通夫)

スタンディングアピール

4月19日(金) 16:00~栃木コープ前
9の日のスタンディングを始めて94回目になるでしょうか。もちろん、5月3日などにもスタンディングをしていますから、100回近くなるでしょう。初めて、雨のために10分ほど残して中止にしました。これからももっと厳しいことがあるでしょう。でもあきらめたら負け。これからも市民の声を大きくしていくために頑張りましょう。(増田)

